

せいきょう連ニュース

岡山県生活協同組合連合会 TEL : 086-230-1315 HP : <http://okayama.kenren-coop.jp/>

6月22日 第52回岡山県生協連通常総会が開催(於:オルガホール)

総会は、代議員61名、オブザーバー4名の出席のもとで開催され、来賓に岡山県、県労福協、日本生協連のご臨席をいただき、石井県知事のメッセージをはじめとして、励ましの言葉をいただきました。また、政党・国会議員や県内の協同組合、全国の生協などからは祝電・メッセージを頂戴しました。議案は、1~4号議案まで、賛成多数で可決・承認されました。4号議案の役員の選任では理事13名、監事3名が選任され就任しました。最後に総会決議を採択して2011年度の活動がスタートしました。総会後に開かれた第一回理事会で会長理事(代表理事)に安場靖、副会長理事に三橋幸夫、武部吉治、木村高清を互選しました。

来賓のみなさま

公私ともご多忙な中をご臨席いただきましたご来賓のみなさま、祝電・メッセージ等をお寄せいただきました多くの方々にお礼を申し上げます。



↑岡山県県民生活部 くらし安全安心課
課長 渡辺 知美さん



↑岡山県労福協
事務局長
西田 和久さん



↑日本生協連中四国地連
事務局長代理 黒木 勉さん

通常総会



ごあいさつ

岡山県生活協同組合連合会
会長理事 安場 靖

東日本大震災が発生して100日が経ちました。多くのかけがえのない命が失われ未曾有の被害と損害の中で、被災者の方々は今なお困難な日々をおくながら、懸命にがんばっておられます。亡くなられた方に哀悼の意をささげ、被災されたみなさまに心よりお見舞いを申し上げます。

会員生協におかれましては、震災直後から救援物資・募金など購買・医療・共済とそれぞれの分野の特性を發揮され、被災地と被災生協への支援に取り組まれており、その献身的な活動に深く敬意を払いたいと思います。

被災地の災禍が一刻も早く復旧し、被災した方々のくらしに希望の灯が燃り、地域コミュニティが回復することを願って、全国の生協と連帯して、応援しつづけたいと思います。

先日開催された第61回日本生協連の総会は、2020年ビジョンと通常議案とともに「東日本大震災に関わる生協の取り組み報告と今後の課題」を決定しました。

今後の課題では、いくつかの重要な提起がありました。福島第一原発の事故に関わる件では、国民に開かれたりリスク管理と国民的議論が必要とし、原子力発電を含むエネルギー政策では、理事会の専門委員会として「エネルギー政策検討委員会」を設置することとし、また、災害見舞金制度の規則を整備して、被災地生協の復興を支援するため、見舞金を募ることなどを決めました。

原発事故の収束も震災復興の先も見通せない中で、長期に亘る物心両面の支えが必要です。県生協連としましても連帯力を駆使して可能な限り力を尽くしたいと考えます。

2012年「国際協同組合年」に向けて、岡山県でも、実行委員会立上げの準備が進んでいます。単なるイベントに終わらないように・・・日本生協連山下 俊史前会長の言葉です。

人の絆で結ばれる「たすけあい」の理念を生協活動の糧として、協同と連帯の志しを共有しながら、困難なハーモンも一つひとつ克服していくうではありませんか。

お知らせ

岡山県生協連の事務所が下記に移転しました。

新住所；岡山市北区奉還町一丁目7番7号 オルガ5階 TEL 086-230-1315 FAX 086-230-1317

総会では、7人の代議員から発言がありました

○佐藤隆則代議員



【三井造船生協】
三井造船生協の介護事業の活動について

○重本敦子代議員



【グリーンコープ生協おかやま】
地区組合員総会の開催について

○藤本一予代議員



【津山医療生協】
健康チャレンジについて

○河本志津恵代議員



【岡山医療生協】
平和環境委員会の取り組みについて

○越智洋瑛代議員



【岡山大学生協】
自宅生のつどい～新入生をあたたかくむかえたい～

○竹田芳子代議員



【おかやまコープ】
おかやまコープの組合員活動について

○原田系子代議員



【倉敷医療生協】
住民組織との協働で成功した認知症サポート養成



▲永年勤続表彰は、4生協57名を代表して、おかやまコープの磯崎誠さんに授与

◀総会決議(案)を朗読提案する岡山大学生協の坪田翔子代議員

他団体とともに

・・・2011年4月以降の取り組み・・・

◆NPO 法人消費者ネットおかやま第4回通常総会【6/4（土）13時30分～きらめきプラザ】

総会では、消費者被害の情報収集を図り、消費者啓発のためのセミナー開催や財政基盤の強化などについて話し合われ、新たに設けられた個人賛助会員（1口千円）制度を生かして、会員加入をいっそすすめることなどが確認されました。

また、2011年度の役員（理事15名、監事3名）が選任され、理事長に河田 英正（弁護士）氏のほか5人の常任理事が互選されました。



総会会場の様子

◆消費者月間記念講演会【6/4（土）14時30分～きらめきプラザ】

消費者団体・生協・司法関係者など11団体57名の参加がありました。

学習講演会は、創作落語（秋風亭てい朝さん）と、記念講演として、消費者庁の鈴木課長補佐（弁護士）から「集団的消費者被害救済制度の法制化に向けて～集合訴訟制度は、消費者に何をもたらすのか～」と題しての講演。制度の検討経過、集合訴訟の手続きのモデルとして、学納金事案を例に解説いただいた。

消費者委員会集団的消費者被害救済制度専門調査会では、この制度について、今年夏を目処に制度の詳細を含めた結論を出し、来年の通常国会に法案提出の予定で準備が進んでいるとのことでした。

…秋風亭てい朝さん

「初めての生落語、おもしろかったです。だまされる時、思わず欲しくて買ってしまう時って、あんな感じなのかなと思った。」実際には行ったことないけど（SF商法の）雰囲気が伝わってきて良かった」

…鈴木 敦士さん（消費者庁企画課長補佐）

「少々難しくて?の部分もあったが、消費者を守る為の法がうまくまわって、被害をうけた時、利用できるようになるといいと思った。消費者はやはり多くの情報をうることが大切だと思った。」



第30回 岡山県民「平和のつどい」開催される

核兵器のない平和な世界をねがって！

～語り継ごうあの日のヒロシマ・ナガサキを～

ゲスト：あさのあつこさん／坪井直さん／きたがわてつさん

7月2日（土）、おかやまコープ「オルガホール」において開催されました。

つどいには約300名が参加。松井一實広島市長と田上富久長崎市長をはじめ、岡山県内15市の内、「平和市長会」加盟の10市長（現在2市増えて12市長）より核兵器廃絶への想いと運動への励ましをメッセージを通して寄せてくださいました。



←司会の竹田さん（左）と眞鍋君

★開会あいさつ



←あいさつをする平末さん

被爆者ご紹介の様子→



★ピーストーク～あさのあつこさんとともに

岡山県美作市在住の作家で、小説『バッテリー』で有名な、あさのあつこさんをお招きしました。



対談で、あさのあつこさんは、「地震も津波も、止めるということは人の力では不可能、できることは被害を最小限に止めること、被害にあった人々に最大限の支援をすること」「戦争の場合は明らかに人災、人が起こすことは人が止めなければいけない、止めることができるもの」「けなげに、一生懸命に生きている人を不幸にする戦争や兵器は絶対になくすべき」「平和は、人の生きる基盤。戦争をして人の命を奪い、奪われた過去を忘れないこと、思い続けることが大事」と呼びかけました。

物書きとして、戦争の時代を生きた人のことをきっちりと書きたい…と あさのあつこさん（写真左）

★被爆者からのメッセージ・坪井直さん（広島県被団協理事長）～参加者アンケートから～



←パワフルに…坪井さん



★コンサート・きたがわてつさん（シンガーソングライター）～参加者アンケートから～

曲目 ①ヒロシマのある国で：②日本国憲法前文：③そんな町を：④グローバルゼロ

「平和を願う思いを込めたストレートな曲名・・・歌詞、わかりやすく、楽しいコンサートでした。」「伸びやかな歌声から熱いメッセージが強く伝わり、良かったです。」「久しぶりに9条の歌が聞けてよかったです。」「歌詞もメロディーもとてもインパクトがあって印象に残り、最初の一曲目で鳥肌が立ちました。とても癒されました。」



★リレートーク【坪井直さん・きたがわてつさん・山陽女子高校放送部のお二人】～参加者アンケートから～

「若い高校生、平和への試み、頼もしい。これからもがんばって欲しい。」「年齢も立場も違う人が「平和」に向き合っていることが伝わってきてとてもよかったです。私も自分の立場でどんな活動ができるかあらためて考えたい。」

★フィナーレ・合唱

岡山合唱団・岡山うたごえ協議会のみなさんが合唱、フィナーレは、きたがわてつさんのエール、核兵器なき世界の実現を確認しました。

2011年度

岡山県生協連の取り組み課題

1. 会員生協の組合員、職員、役員が参加する各種の学習・研修交流等に取り組みます。

- ①県連・会員生協役員研修交流会、組合員活動交流集会等 ②他生協訪問研修は、実施の方向で検討。

2. 行政、議会、他団体(協同組合、消費者団体、市民団体など)との連携を通じて親睦を深め、信頼関係を強めます。

- ①県内の協同組合連絡協議会に結集し、2012年国際協同組合年を期して、協同組合(生協)のビジビリティ(認知度)を高めるため、その企画などに積極的に参画。
- ②生協(事業体・組合員)の要望や提言をまとめ、県や国の生協所管部署等との情報・意見交換を行う。
- ③県の「消費生活懇談会」や「食の安全・食育推進協議会」の委員として出席し、国や県が行う意見交換会・懇談会、また、パブリックコメント募集への意見を提出する。
- ④県議会議員との懇談会、知事との懇談会を実施し、生協の理念や活動の理解促進を図る。
- ⑤県消連やNPO 消費者ネットおかやまの構成団体および事務局としての役割を担って諸活動に取り組む。
- ⑥県生協連のホームページ並びにせいきょう連ニュース・会報は、情報提供の大切な手段として充実を図る。

3. 身近な暮らしにかかわる食の安全、消費者被害、環境、福祉、防災、まちづくりなどとともに平和、社会保障と税、憲法などについても学習機会を設け、日本生協連(中四国地連)や消連、「NPO 法人消費者ネットおかやま」などと連携して取り組みます。

- ①県が進める「新岡山県消費生活基本計画」、「食の安全・安心推進計画」並びに「食育推進計画」に対して、消費者団体としてその実行に努める。
- ②「NPO 法人消費者ネットおかやま」の団体正会員として、生協組合員など地域消費者の利益を守る役割を担って活動する。
- ③第30回目となる「県民平和のつどい」は、その成功に向けて、実行委員会事務局として役割を担う。
- ④(財)おかやま環境ネットワークの構成団体として、諸活動に積極的に参画する。
- ⑤予期せぬ災害に備え、防災、事業継続のための「学習」や「訓練」機会を設けるとともに、県内外の災害支援・ボランティア・ネットワークのシステム活用を図る。

4. 生協間相互の、また会員生協共通の情報交換の場を有効に活かし、学習と実践を通して、生協連帯のメリットを最大限発揮します。

- ①福祉部会(福祉事業活動推進協議会=仮称)が、県内高齢者の暮らしと福祉、地域づくりをめぐるネットワークの結び目として機能し、会員生協の事業活動の到達点と課題の相互交流を図りながら、連帯力を活かして、将来展望につながる事業の進展をめざす。
- ②組織委員会、医療部会とともに、教育担当者会議を定例化して開催し、会員生協相互の交流を通して、事業と活動の向上を図る。

2011年度 岡山県生協連役員体制

会長理事(代表理事)	安場 靖	員外・常勤
副会長理事	三橋 幸夫	おかやまコープ理事長
副会長理事	武部 吉治	三井造船生協理事長
副会長理事	木村 高清	岡山医療生協専務理事
理事	大山 健二	岡山大学生協専務理事
理事	加藤 孝昭	岡山県学校生協専務理事
理事	佐々木正昭	津山医療生協専務理事
理事	牧野 義明	岡山県労済生協専務理事
理事	道廣 義則	倉敷医療生協常務理事

理	事	三堀 明人	グリーンコープ生協おか専務理事
理	事	和泉 伸子	倉敷医療生協理事
理	事	岡本多賀子	三井造船生協理事
理	事	田中 敦子	おかやまコープ理事
監	事	河内 俊幸	セイレイ工業生協理事
監	事	河本志津恵	岡山医療生協常任理事
監	事	近藤 清志	おかやまコープ常務理事
顧	問	吉永 紀明	岡山県生協連前会長理事

退任された役員

【副会長理事】	清瀬 民夫 (倉敷医療生協専務理事)
【理事】	宮本 紀子 (おかやまコープ理事)
	本田 正一 (岡山県学校生協専務理事)
	水嶋 康彦 (グリーンコープ生協おか専務理事)
【監事】	上村 昇 (岡山医療生協常任理事)
	名合 正壽 (本花滝生協理事長)

会場には、東日本大震災支援募金



退任役員を代表して
清瀬前副会長理事が挨拶



…寄せ書きコーナーも…